

子宮体癌に対するロボット支援下手術時に前回帝王切開創からの腫瘍漏出 に関する研究

1. 研究の対象

2010 年 1 月 1 日以降に当院で子宮体癌に対してロボット支援下手術をうけ、前回帝王切開創からの腫瘍漏出を認めた方。

2. 研究目的・方法

まれな腫瘍漏出である帝王切開創からの腫瘍漏出を認めた子宮体癌の症例について、腫瘍漏出を認めた際の対応方法、予後への影響等を明らかにします。

当院でロボット支援下手術を行い、前回帝王切開創からの腫瘍漏出を認めた方を抽出し、過去の報告を踏まえ、文献的考察を行います。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：カルテ番号、年齢、身長、体重、病歴、手術方法、周術期合併症、治療後の病状、予後等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

大阪国際がんセンター 婦人科 前田 通秀

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者

大阪国際がんセンター 婦人科 上浦 祥司

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上